

## 昔は、身近にあった自然の材料から 多くの道具が作られていました

みなさんの自宅で、日常的によく使っている道具を思い浮かべてみてください。5点でも10点でもかまいません。それらは、何の材料からできていますか。プラスチックですか、鉄などの金属ですか……。

同じ質問を、江戸時代、明治時代、大正時代、昭和の初めごろの子どもにしたら、どうでしょう。

プラスチックや金属の材料がたくさん使われている今の時代とちがひ、昔は身近にあった自然の材料から多くの道具が作られていたので、かなりちがう答えが返ってくるのではないのでしょうか。

本シリーズは、昭和の初めごろまで、とくに多く使われてきた「竹」「わら」「木」「和紙」に着目して、これらから作られた昔の道具をたくさん紹介します。

これらの材料には、「植物」という共通点があります。竹と木は、説明するまでもなく植物。わらは、稲から籾をとった部分なので、植物の一部。和紙は、低木の皮にある繊維を主原料としているので、植物から生み出されています。

このことから、各巻とも、材料のおおもとである植物のすがたや特徴から紹介をはじめます。そこから、昔の人がそれぞれの材料の特長を生かし、作り出してきた道具のページへ移ります。昔の製作のようすや、昔の人々が使っているところも一目してわかってもらえるように、道具が描かれた昔の絵もできるだけ多く掲載するようにしました。

また、昔の道具は、「昔」といいながら、今も使われていたり、作られたりしているものがたくさんあります。本シリーズでは、昔から伝わる技法を用いて道具を製作している今の職人さんの仕事ぶりも紹介します。時代をこえて道具作りにはげむ今の職人さんたちの見事な手わざにも、注目していただけるとうれしいです。

ふかみつ ふ し お  
深光富士男

## もくじ

ちくりん 竹林	4
しゅるい 竹の種類	6
とくちょう 竹の特徴	8
だいどころ しよく し どう く 台所・食事の道具（ざる・かご以外）	10
ざる ① いろいろなざる	12
ざる ② 米揚げざる	14
み 箕・ふるい	15
かご ① いろいろなかご	16
かご ② 運搬・収穫用	18
てんびんぼうよう 天秤棒用の竹かご・人が乗っていた竹かご	20
ぶんぼう く そう し どう く 文房具・掃除道具など	21
ちくりん ちくざい 竹林から竹材まで	22
たいけんよう 竹ひご作り（竹かご作り体験用）	24
たいけん ひし 竹かご作り体験（菱四つ目かご）	26
あ かた 編み方のいろいろ	29
のきさき にわ り よう 軒先や庭の竹利用	30
わ 和がさ・ちょうちん・うちわの骨	33
けんざい 建材	34
竹たが	35
おひつの竹たが作り	36
ぎょかい 魚介とり	38
ようさん 養蚕	39
おもちゃ・遊具	40
鳥かご・虫かご	42
ふえ 笛・スリザサラ	43
ちゃどう く 茶道具・花入れ	44
ねんちゅうぎょう し たなばた とり いち くまで 年中行事（七夕かざり・酉の市の熊手）	45
さくいん	46





# 竹かご作り体験

(菱四つ目かご)



ひご作りの1週間後、竹かご作りの体験講座が開催されました。参加者は25名。竹細工ははじめて、という人がほとんどです。編むかごは、

「菱四つ目かご」。ひとつずつ編み上げて、持ち帰ることができます。参加者は5人ずつのグループに分かれて、竹細工グループの方々に編み方を教わっていきました。その製作過程をのぞいてみましょう。

## 材料

- ・皮竹ひご (竹の表面のひご) ..... 8本
- ・身竹ひご (竹の内部のひご) ..... 16本
- ・籐 (かごの縁を巻きます。) ..... 1本

## 1 皮竹ひご2本をたてにならべてから底を編んでいく



ひごは、竹をうすくはいで作るもので、表面の部分(皮竹ひご)と中身の部分(身竹ひご)ができます。この2種類のひごを使って、写真のように底から編んでいきます。



緑色の皮竹ひごは本数が少ないので、身竹ひごのあいだに写真のように編み入れて、規則正しく緑色が見えるようにします。

## 2 側面になるところを立てる



底編みが完成したら、裏返しにします。底がわかるようにひもを結び、側面になるところを立てて「折り曲げぐせ」をつけます。

## 3 側面を編んでいく(1)



底の角は、4カ所とも皮竹ひごがくるように編んでいます。底をひごにあてて、両手を使い、きれいな角ができるように編んでいきます。



かごの側面を編んでいるところ

## 4 側面を編んでいく(2)



側面を編み進めると、かごらしい形になっていきます。編み目は、同じ菱形になるように、ひごをずらして調整します。



## 5 ひごの先を切りそろえる



側面が編み終わったら、角、編み目、全体の形などを確認して、直したいところがあれば修正します。そのあとで、ひごの先を切りそろえます。

## 6 ひごの先をさく(4分割)



写真のように、ひごをさいていきます。さいたところが、かご上部の縁になります。

## 7 さいたところを内側に折り曲げて縁を作っていく



細くさいた部分を内側に折り曲げていきます。ゆるまないように、しんちょうに作業を進めていきます。

次ページへ